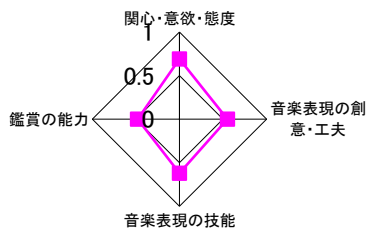


内容別・観点別の分析

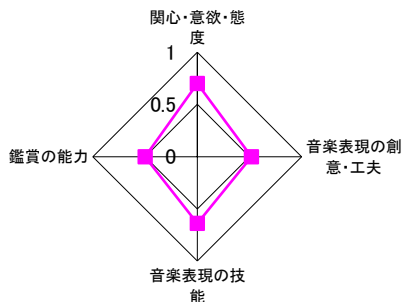
1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	69%
音楽表現の創意・工夫	55%
音楽表現の技能	62%
鑑賞の能力	48%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



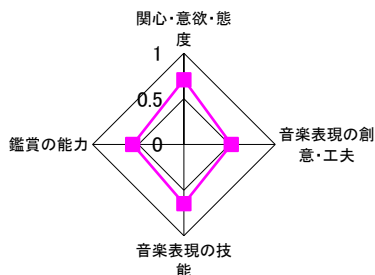
2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	70%
音楽表現の創意・工夫	52%
音楽表現の技能	64%
鑑賞の能力	50%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	71%
音楽表現の創意・工夫	52%
音楽表現の技能	65%
鑑賞の能力	56%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	音楽を聴いて感じたことを文章で表現したり、歌唱の工夫について文章で表現する指導を行ったが、まだまだ基礎的な力が不足しているようである。	音楽や表現の工夫を文章で表現する場合は具体的な言葉で多くの表現例を示し、生徒がスムーズに書き出せるようにする。また身体を使って表現の工夫について考える時間を設ける。	模範演奏を聴き、それを参考にして演奏しながら、曲想にふさわしい強弱や変化をつかんだり、グループを作り表現方法を話し合っ、効果的な表現を試み、工夫させる。
2年	音楽を聴いてその特徴を文章で表現することはできるようになったがその良さや味わいを表現するという力が不足している。	鑑賞に限らず、合唱曲等もじっくり聴いてその良さを味わうという時間をつくり、鑑賞のときに使う言葉の引き出しを増やしていけるような指導を行う。	複数の曲を鑑賞し、その中から1曲を選択して曲の良さをプレゼンテーションするという学習を行う。
3年	歌詞の内容をもとに音楽の表現を工夫するという学習内容を扱ったが、自分でイメージを膨らませて表現を工夫するという力が不足している。	パートやグループごとに分かれ、音楽表現について考える時間を設ける。そのとき、表現の工夫が他者にも伝わるよう、ワークシートに文章で書くことを徹底して行う。	生徒がより主体的に学びを深めることができるよう、パート練習の時間を多く設ける。